

「ぼうさい探検隊」デジタルマップ特別賞の表彰式を開催

日本損害保険協会三重損保会（会長：（会長：穴山 将広 損害保険ジャパン株式会社 三重支店長））では、3月27日（月）に安楽島公民館で、第19回ぼうさい探検隊マップコンクール「デジタルマップ特別賞」の表彰式を開催しました。

当日は、日本損害保険協会中部支部 三村事務局長から、マップを作成した「安楽島キッズ探検隊」のメンバーに表彰状が手渡され、その後、安楽島キッズ探検隊による発表会が行われました。表彰式では、受賞者から、「地域として活動できている点が大切なこと。探検隊で洗い出した課題については、鳥羽市に改善を要望していきたい」というコメントがありました。

「ぼうさい探検隊」は、楽しみながら自分の住む地域の防災・防犯・交通安全に関する施設や設備などを見て回り、危険な場所や気づき等をマップにまとめる教育プログラムです。第19回になるマップコンクールには、全国47都道府県の小学校、子ども会、児童館など410団体が参加し、1,179作品が寄せられました。

安楽島キッズ探検隊は第2回から参加しており、デジタルマップ特別賞の受賞は前回に続いて2回目となります。今回受賞したマップは、「お年寄りの避難」がテーマとなっており、実際に高齢者を連れて模擬避難を行い、安全な避難方法についてアドバイスをしたことや、安政地震での津波被害を認識し、地域の危険性について学びを深めたことが評価されました。

当支部は、今後も地域防災力の強化につながる取組みを推進してまいります。



<発表会の様子>